

## 様式第2号

視察研修先	群馬県桐生市議会	氏名	沖津 一博
視察研修項目	まちづくり討論会について		
<p>桐生市議会は平成19年度と古くから議会改革を行い全国でも常に上位を維持しておられる、素晴らしい議会であり、平成23年から年4回の議会報告会、意見交換会を実施、市民に直接報告する機会を設けるとともに、市政に関心の高い市民との意見交換会を実施しております。28年にはまちづくり討論会開催、第1回目は特定団体と、市民・各団体の現状や課題等を、情報交換を通じて明らかにし、課題解決の糸口を探るとともに、それぞれの立場における、桐生のまちづくりに対する考え方や方策等について議論を交わしています。我々市議会でも行いたい事が幾つか有りましたが、その中の一つ、議会モニターの導入でした。それは議会の活動や桐生市のまちづくりについて、市民から要望、提言その他の意見を広く聴取し、議会運営に反映させ議会機能の充実強化を図る為、平成30年度に試行的に導入。令和元年度から本格稼働しました。モニターさんは15歳以上から70歳までおまして、現在12名の方が行っています。</p> <p>本会議を傍聴したり、委員会や分科会を傍聴したり議員の活動を時間の許す限り議員の側にて、議員の仕事や、良い所やそうでない所まで見えて、色々な感想や指摘をしてくれる、モニターがおり大変素晴らしい事をしておられると思います。寒河江市議会でも是非この様な取り組みが出来ればよいと思います。</p>			

## 様式第2号

視察研修先	埼玉県上尾市議会	氏名	沖津 一博
視察研修項目	常任委員会の動画配信について		
<p>上尾市は、江戸時代に設置された旧中山道の上尾宿を起源とする宿場町で昭和30年3町3村が合併して上尾町となり、3年後の昭和33年7月に市制を施行し上尾市が誕生しました。都心からのアクセスの良さもありベッドタウンとして最近人口が急激に増加し発展をとげており、羨ましい限りであります。</p> <p>本会議の動画配信は平成17年3月定例会から実施、より開かれた議会を目指し、議会改革特別委員会で「委員会の動画配信」について検討開始。手法やコスト等を検証する必要がある。主な検討項目は、配信システムは既存のシステムか、YouTubeか、配信方法は録画配信か、ライブ配信も行うか。どこまで動画配信の対象とするか。カメラはwebカメラか固定カメラか。議員の動画利用におけるルールを作るかなどが検討なされ、平成31年度当初予算要求までには議論を終結させたいとして、問題発言等による映像訂正などに対する懸念を重視し、意見が二分して議論が進まないより、実施優先、既存システム・録画配信のみに決定(30年8月)。市民の反応は配信開始後の反響はおおむね好評、同時開催されている委員会を両方見る事が出来る、翌日配信されるなら、わざわざ見に行かなくても済むなど意見もありました。また、市民からはカメラの画質が悪い、ライブにしてほしい、見たい議案審査の始まる時間が分からないなどの意見も出されていました。</p>			

様式第2号

視察研修先	埼玉県上尾市議会	氏名	沖津 一博
視察研修項目	議会における災害発生時の対応について		
<p>上尾市は面積45.51㎢、海拔15.4mで平坦、東に原市沼川、西に荒川、江戸川、市内に芝川、鴨川が流れる地域で自然災害で多いものは台風による浸水、道路冠水、降雹による農作物被害議会の緊急連絡体制は全議員にメール送信体制、市内火災情報報告、台風等による行事の中止、議会運営上の緊急連絡事項などです。</p> <p>課題の認識では、地域防災計画において議員の位置付けがない。災害時における議員の安否確認の方法を確認する必要がある。議会側で災害対策支援本部を設置した場合の事務局職員体制、および災害対策本部との情報共有、対応等について作っておく事が大事。実際に災害現場で活動する、警察、消防、自衛隊との間合い。活動の妨げになってはならない。という点では議員の基本行動基準に、災害情報の提供及び要望等は、原則として、市対策本部への個別要請は行わず、支援本部を通じて行う、と規定している。また、ボランティア保険などの加入についての助成制度はないが、上尾市自主防災組織の組織率100%など防災意識の高い街でありました。</p>			